

第2章 北斗市高齢者の現状等

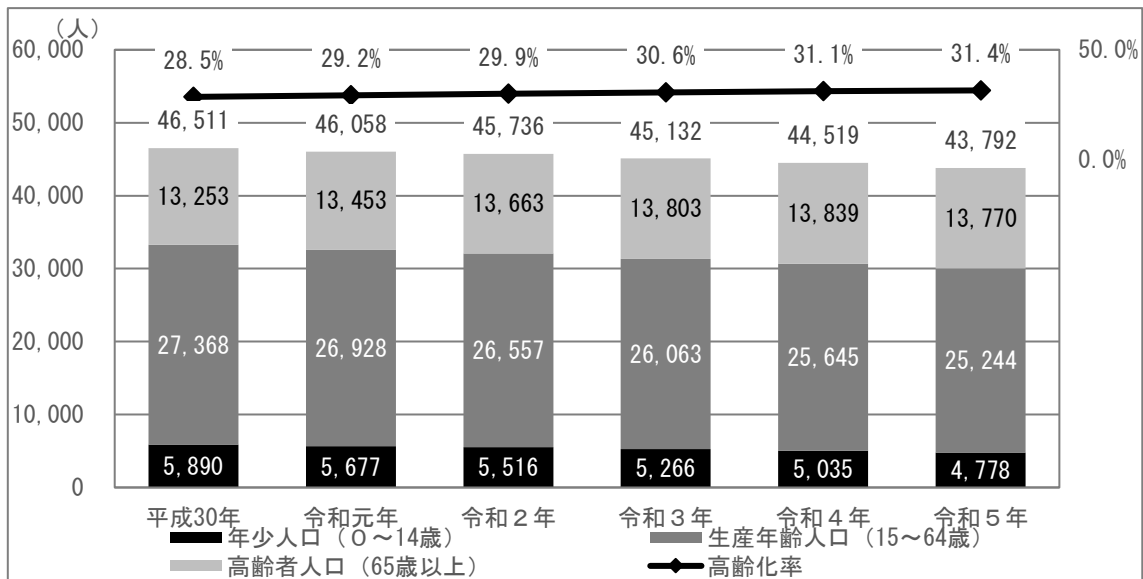
1

高齢者人口などの推移

北斗市の総人口は、平成30年（2018年）の46,511人から令和5年（2023年）には43,792人と減少傾向となっていますが、高齢化率（総人口に占める65歳以上の高齢者の割合）は増加を続けており、令和5年現在には31.4%となっています。

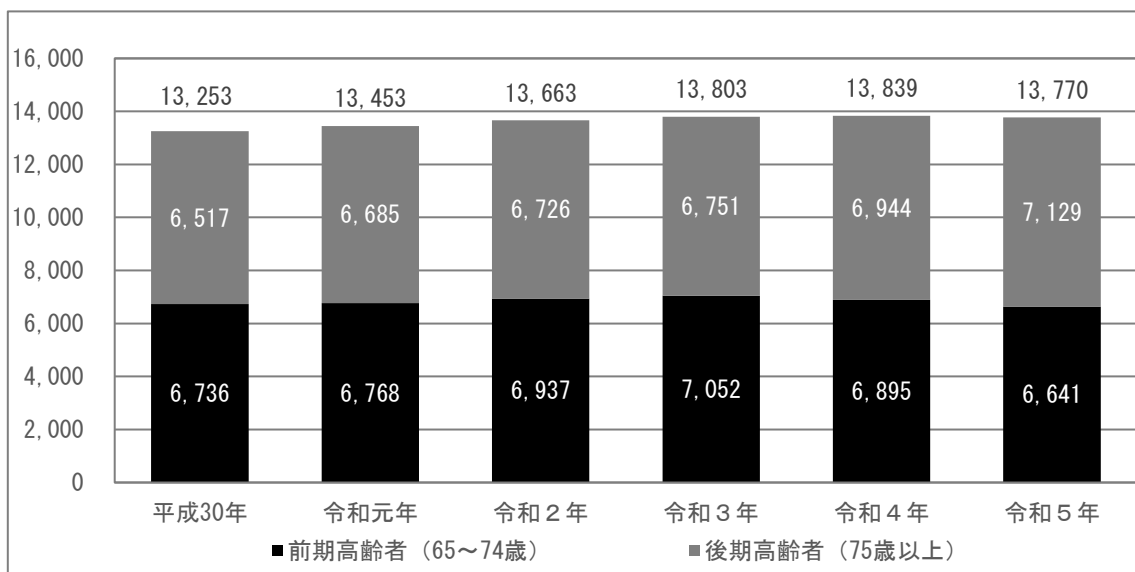
また、高齢者人口の内訳をみると、後期高齢者（75歳以上）は年々増加しており、令和5年には7,129人となっています。

●年齢3区分別人口と高齢化率の推移



資料：住民基本台帳（各年9月末時点）

●高齢者人口の推移



資料：住民基本台帳（各年9月末時点）

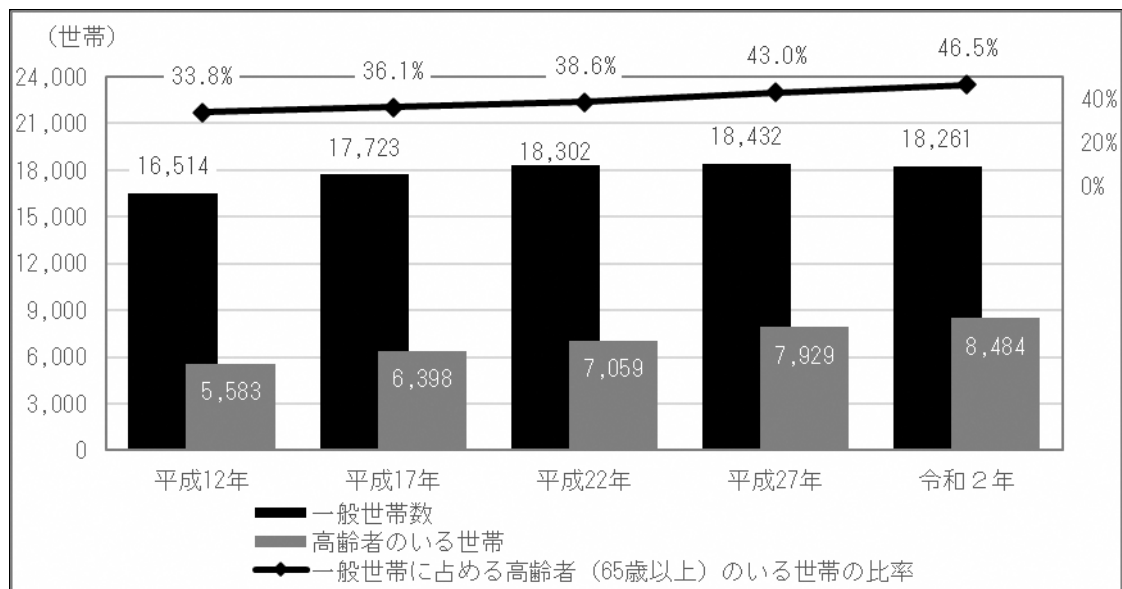
2

高齢者世帯数などの推移

北斗市では、高齢者のいる世帯数は増加傾向にあり、令和2年（2020年）では、8,484世帯に高齢者がいる状況です。

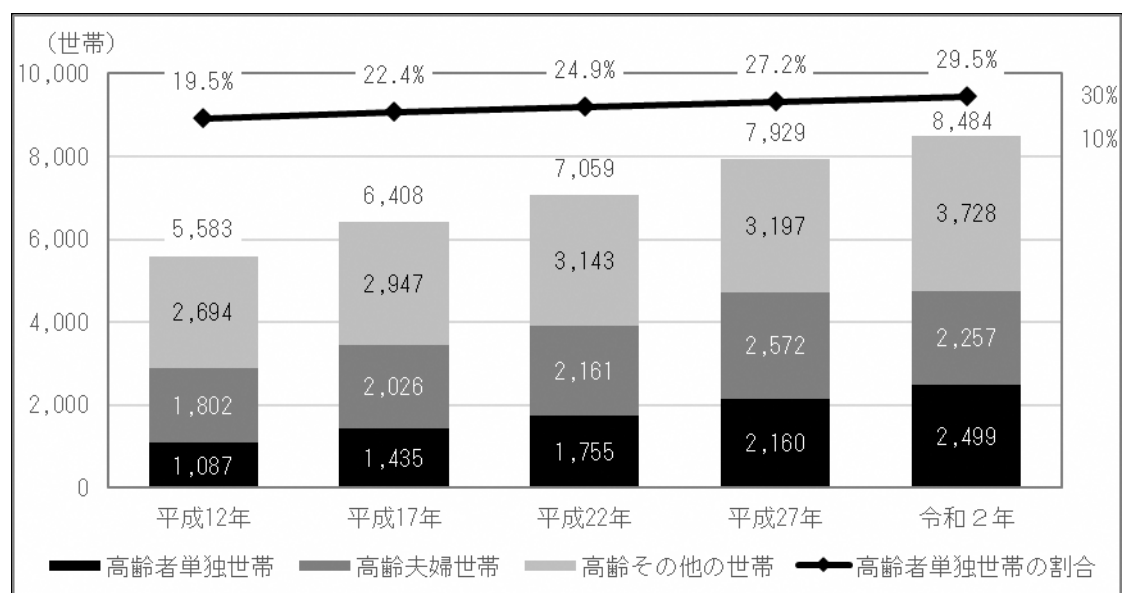
高齢者のいる世帯の中で高齢者単独世帯数は増加傾向にあり、高齢者のいる世帯に占める割合も増加傾向です。令和5年（2023年）では高齢者単独世帯は2,499世帯まで増加しています。

●一般世帯数に占める高齢者のいる世帯の推移



資料：国勢調査

●高齢者のいる世帯推移の内訳



資料：国勢調査

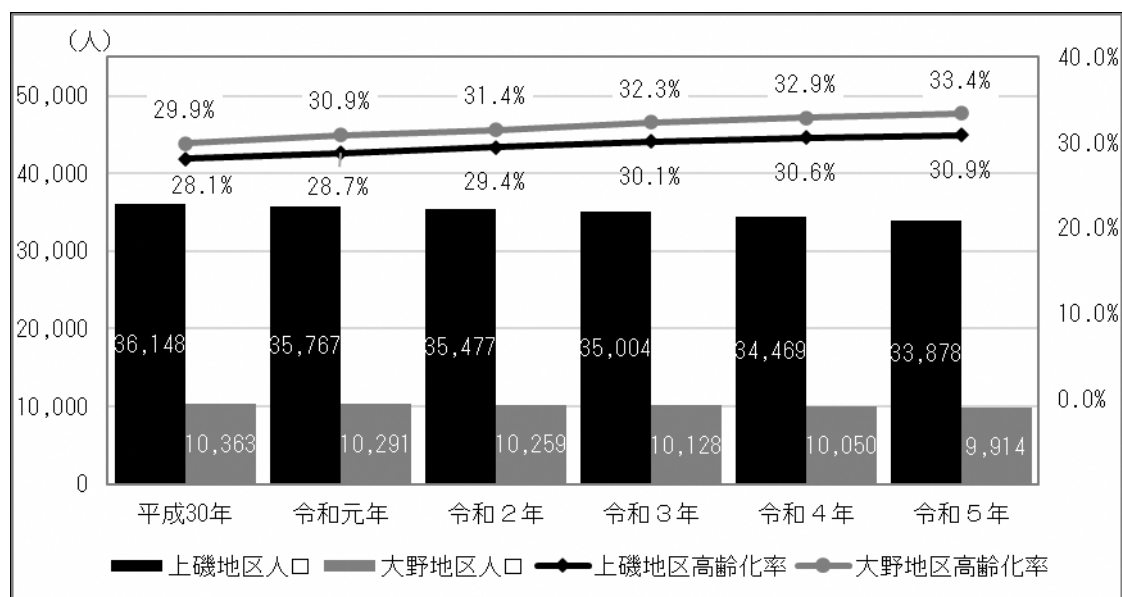
3

日常生活圏域別人口の推移

令和5年（2023年）の日常生活圏域別の人口は、上磯地区が33,878人、大野地区が9,914人となっていて、いずれも減少傾向です。両地区の高齢化率に大きな差異はありませんが、両地区ともに高齢化は進んでいます。

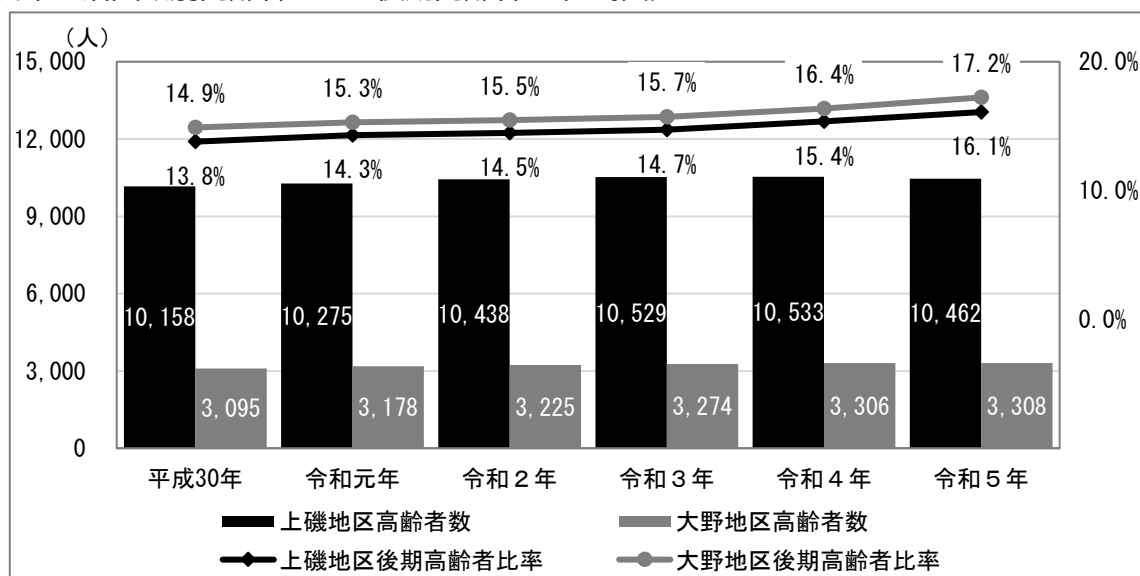
また、後期高齢者比率（総人口に占める後期高齢者の割合）をみても、両地区ともに増加傾向です。

●日常生活圏域別人口と高齢化率の推移



資料：住民基本台帳（各年9月末時点）

●日常生活圏域別高齢者人口と後期高齢者比率の推移



資料：住民基本台帳（各年9月末時点）

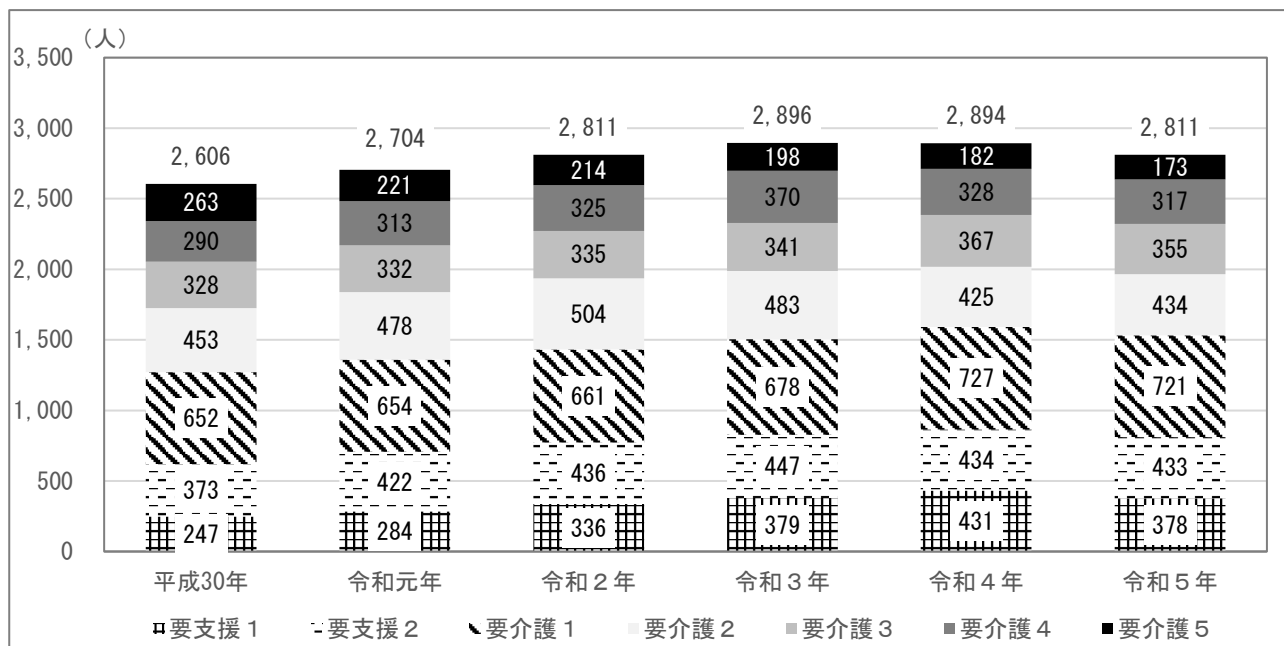
4

要支援・要介護認定者数の推移

要支援・要介護認定者数は、令和3年（2021年）をピークに減少傾向にあり、令和5年（2023年）は2,811人です。

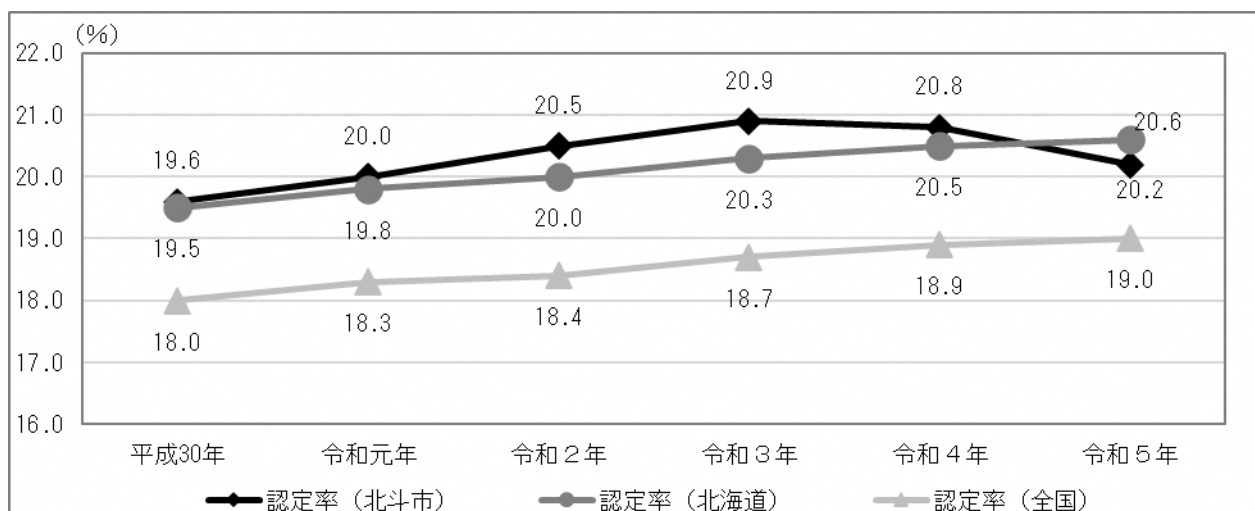
全国、北海道と比較すると、令和4年（2022年）までは全国と北海道よりも高く、令和5年は北海道よりも低く、国よりも高くなっています。

●要介護・要支援認定区分別認定者数の推移



資料：地域包括ケア「見える化システム」

●要介護・要支援認定率の推移



資料：地域包括ケア「見える化システム」

5

アンケート調査にみる現状

(1) 調査概要

① 調査の目的

本計画の策定に当たり、65 歳以上の住民や介護をしている家族、介護サービス事業者等を対象にアンケート調査を行い、市内の高齢者を取り巻く実態把握を行いました。

② 各調査の趣旨・対象

区分	調査対象	調査の実施時期	調査票配布数	有効回答数【率】
介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	本市内在住の 65 歳以上の高齢者 (要介護 1～5 の認定を受けている人を除く)	令和 5 年 (2023 年) 8 月～9 月	1,200 件	790 件 【65.8%】
在宅介護実態調査	本市内在住の要支援又は要介護認定者のうち、在宅で生活している人	同上	880 件	500 件 【56.8%】
介護人材実態調査	本市内の事業所、施設・居住系サービスの管理者の人	同上	66 件	35 件 【53.0%】
居所変更実態調査	本市内の施設・居住系サービスの管理者の人	同上	31 件	18 件 【58.1%】
在宅生活改善調査	本市を担当する居宅介護支援事業所のケアマネジャー	同上	20 件	11 件 【55.0%】

③ 調査方法

- ・郵送による配布・回収：介護予防・日常生活圏域ニーズ調査及び在宅介護実態調査
- ・インターネットメールにて送付・回収：介護人材実態調査、居所変更実態調査及び在宅生活改善調査

調査結果の表記及び注意点について

- 回答は、各質問の者数（計）を基とした百分率（％）で示しています。小数点第 2 位を四捨五入しているため、比率の合計が 100.0 ％にならない場合があります。
- 複数回答を求めた質問では、回答比率の合計が 100.0％を超えます。
- 回答があっても、小数点第 2 位を四捨五入し 0.1％に満たない場合は、表・グラフには「0.0」と表記しています。

(2) 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

① 介護・介助が必要になった主な原因

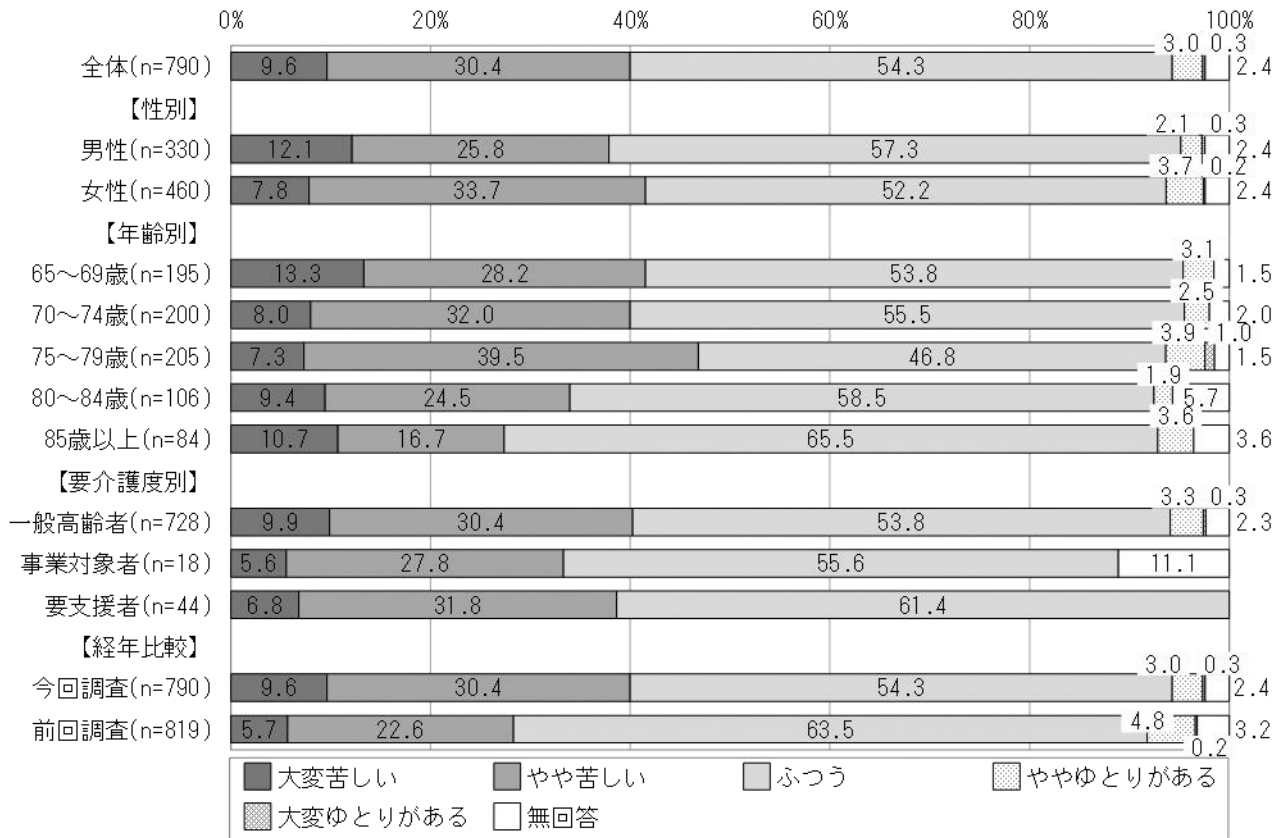
全体では、「糖尿病」と「骨折・転倒」、「高齢による衰弱」が、それぞれ13.9%と最も高くなっています。

(%)	糖尿病	骨折・転倒	高齢による衰弱	脊椎損傷	脳卒中（脳出血・脳梗塞等）	心臓病	呼吸器の病気（肺気腫・肺炎等）	関節の病気（リウマチ等）	認知症（アルツハイマー病等）	がん（悪性新生物）	視覚・聴覚障害	パーキンソン病	腎疾患（透析）	その他	不明	無回答
全体(n=36)	13.9	13.9	13.9	11.1	5.6	5.6	5.6	5.6	5.6	2.8	2.8	0.0	0.0	11.1	2.8	19.4
【性別】																
男性(n=10)	10.0	0.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.0	0.0	30.0
女性(n=26)	15.4	19.2	15.4	11.5	3.8	3.8	3.8	7.7	7.7	3.8	3.8	0.0	0.0	11.5	3.8	15.4
【年齢別】																
65～69歳(n=1)	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
70～74歳(n=5)	40.0	0.0	0.0	20.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	20.0
75～79歳(n=9)	11.1	11.1	0.0	33.3	11.1	0.0	22.2	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	22.2
80～84歳(n=10)	10.0	10.0	20.0	0.0	0.0	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.0	0.0	0.0	30.0	10.0	20.0
85歳以上(n=11)	9.1	18.2	27.3	0.0	9.1	0.0	0.0	9.1	18.2	9.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	18.2
【要介護度別】																
一般高齢者(n=20)	10.0	15.0	15.0	5.0	5.0	10.0	5.0	0.0	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.0	0.0	25.0
事業対象者(n=1)	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
要支援者(n=15)	20.0	6.7	13.3	20.0	6.7	0.0	6.7	13.3	0.0	6.7	6.7	0.0	0.0	13.3	6.7	13.3

② 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じているか

全体では、「ふつう」が54.3%と最も高く、「やや苦しい」が30.4%、「大変苦しい」が9.6%と続いています。「大変苦しい」と「やや苦しい」を合わせた『苦しい』は40.0%となっています。

前回調査（令和2年（2020年）に実施）では『苦しい』が28.3%であり、今回調査では『苦しい』が11.7ポイント上昇しています。

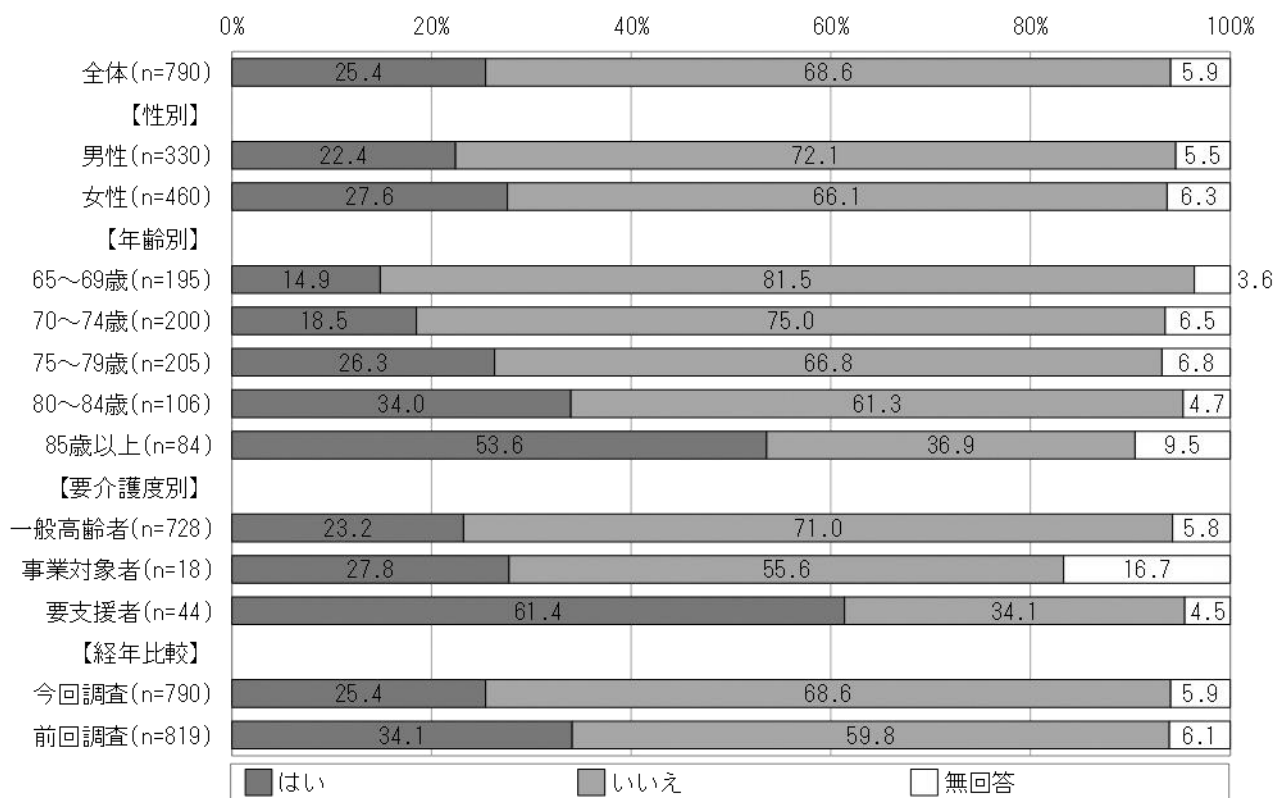


③ 外出を控えているか

全体では、「はい」が25.4%、「いいえ」が68.6%となっています。

年齢別では、年齢が上がるほど「はい」の割合が高くなる傾向にあります。

前回調査（令和2年（2020年）に実施）では「はい」が34.1%であり、今回調査では「はい」が8.7ポイント減少しています。



④ 家族や友人・知人以外の相談相手

全体では、「医師・歯科医師・看護師」が20.6%と最も高く、「地域包括支援センター・市役所」が14.9%、「社会福祉協議会・民生委員」が14.3%と続いています。

年齢別では、年齢が下がるほど「そのような人はいない」の割合が高くなる傾向にあります。

(%)	医師・ 歯科医師・ 看護師	地域 包括支援 センター・ 市役所	社会福祉 協議会・ 民生委員	自治会・ 町内会・ 老人クラブ	ケア マネジャー	その他	そのような 人はいない	無 回答
全体 (n=790)	20.6	14.9	14.3	9.2	9.0	8.0	38.9	8.1
【性別】								
男性 (n=330)	18.5	15.5	11.2	11.5	7.0	8.5	42.7	6.1
女性 (n=460)	22.2	14.6	16.5	7.6	10.4	7.6	36.1	9.6
【年齢別】								
65～69歳 (n=195)	17.4	14.4	8.2	4.6	7.7	10.3	50.3	3.6
70～74歳 (n=200)	20.5	15.0	13.0	10.5	6.0	9.0	38.5	6.0
75～79歳 (n=205)	25.4	12.7	18.0	9.3	8.8	5.4	34.6	10.7
80～84歳 (n=106)	17.0	16.0	17.9	12.3	13.2	4.7	32.1	12.3
85歳以上 (n=84)	21.4	20.2	17.9	13.1	14.3	10.7	32.1	11.9
【要介護度別】								
一般高齢者 (n=728)	20.6	14.7	13.7	9.3	6.0	7.8	40.2	8.4
事業対象者 (n=18)	11.1	11.1	33.3	16.7	22.2	11.1	16.7	5.6
要支援者 (n=44)	25.0	20.5	15.9	4.5	52.3	9.1	25.0	4.5

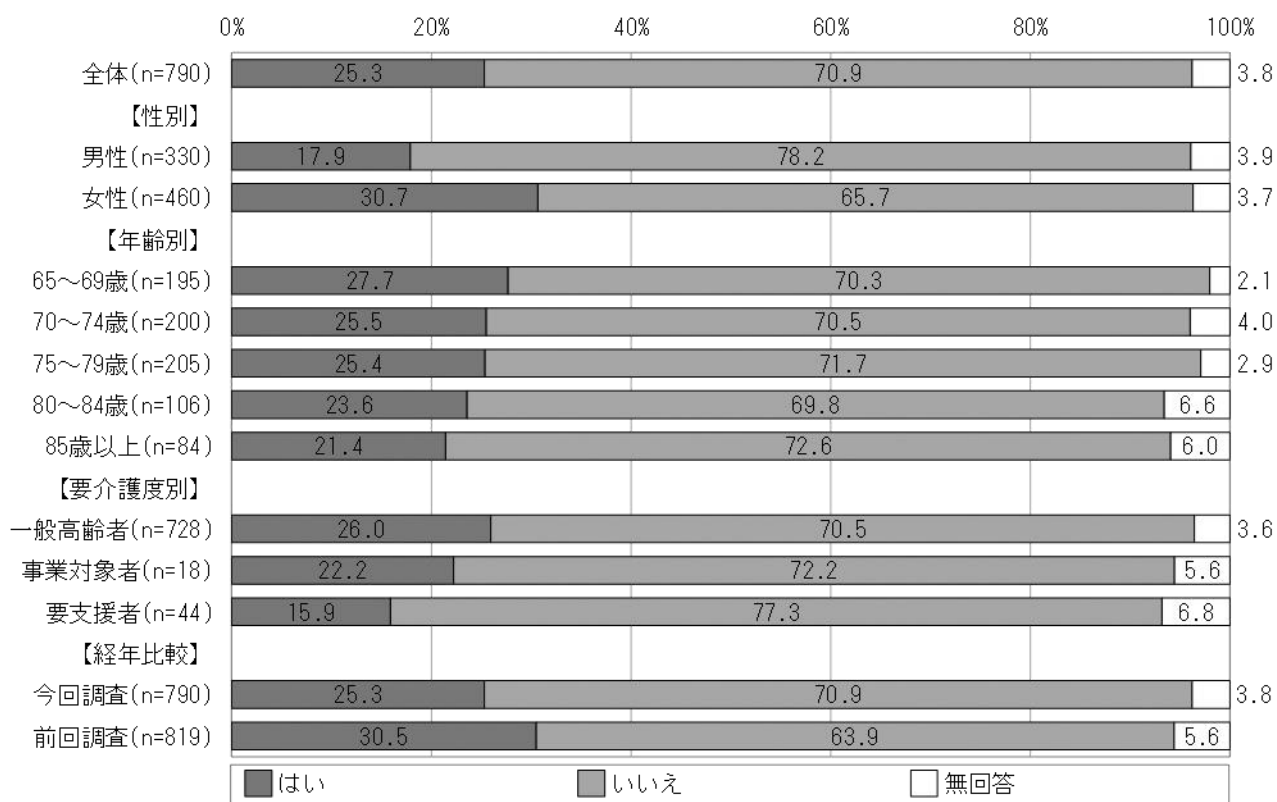
⑤ 認知症に関する相談窓口を知っているか

全体では、「はい」が25.3%、「いいえ」が70.9%となっています。

性別では「はい」は、女性（30.7%）が男性（17.9%）を12.8ポイント上回っています。

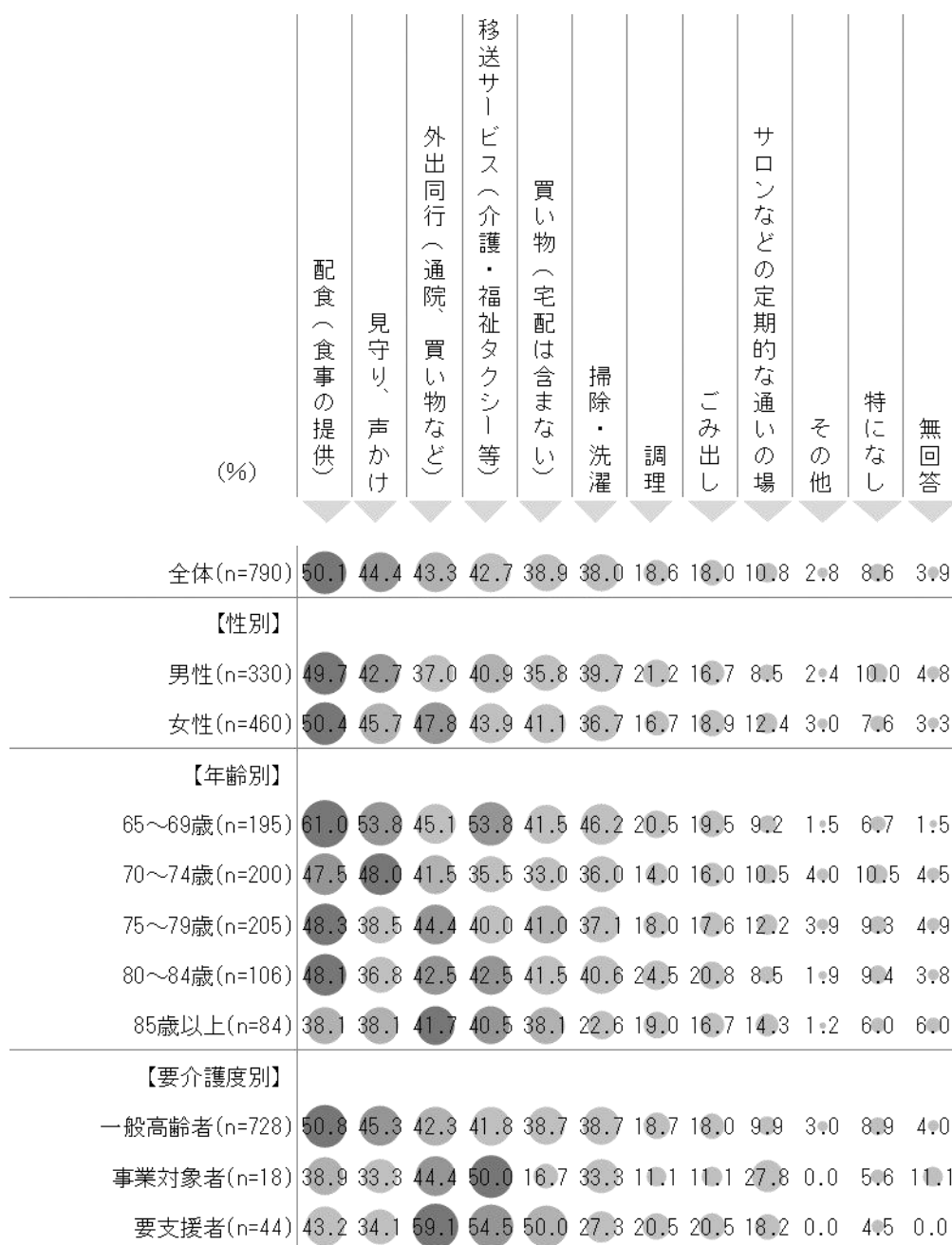
要介護度別では、要介護度が上がるにつれ、「いいえ」の割合が高くなる傾向にあります。

前回調査（令和2年（2020年）に実施）では「はい」が30.5%であり、今回調査では「はい」が5.2ポイント減少しました。



⑥ 高齢者が身近な地域や自宅で生活を続けていくために、特に必要な支援・サービス
 全体では、「配食（食事の提供）」が50.1%と最も高く、「見守り、声かけ」が44.4%、「外出
 同行（通院、買い物など）」が43.3%と続いています。

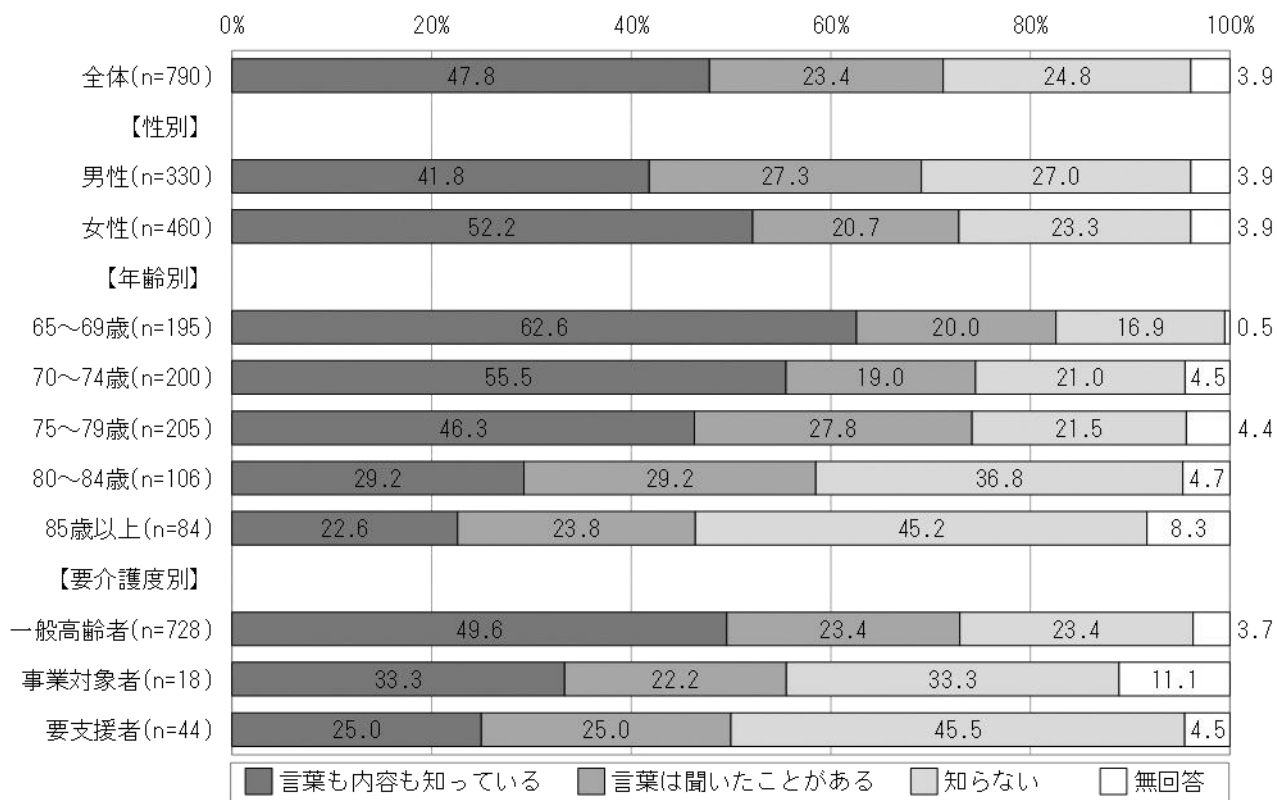
性別では「外出同行（通院、買い物など）」は、女性（47.8%）が男性（37.0%）を10.8ポ
 イント上回っています。



⑦ ヤングケアラーという言葉を知っているか

全体では、「言葉も内容も知っている」が47.8%と最も高く、「知らない」が24.8%、「言葉は聞いたことがある」が23.4%と続いています。

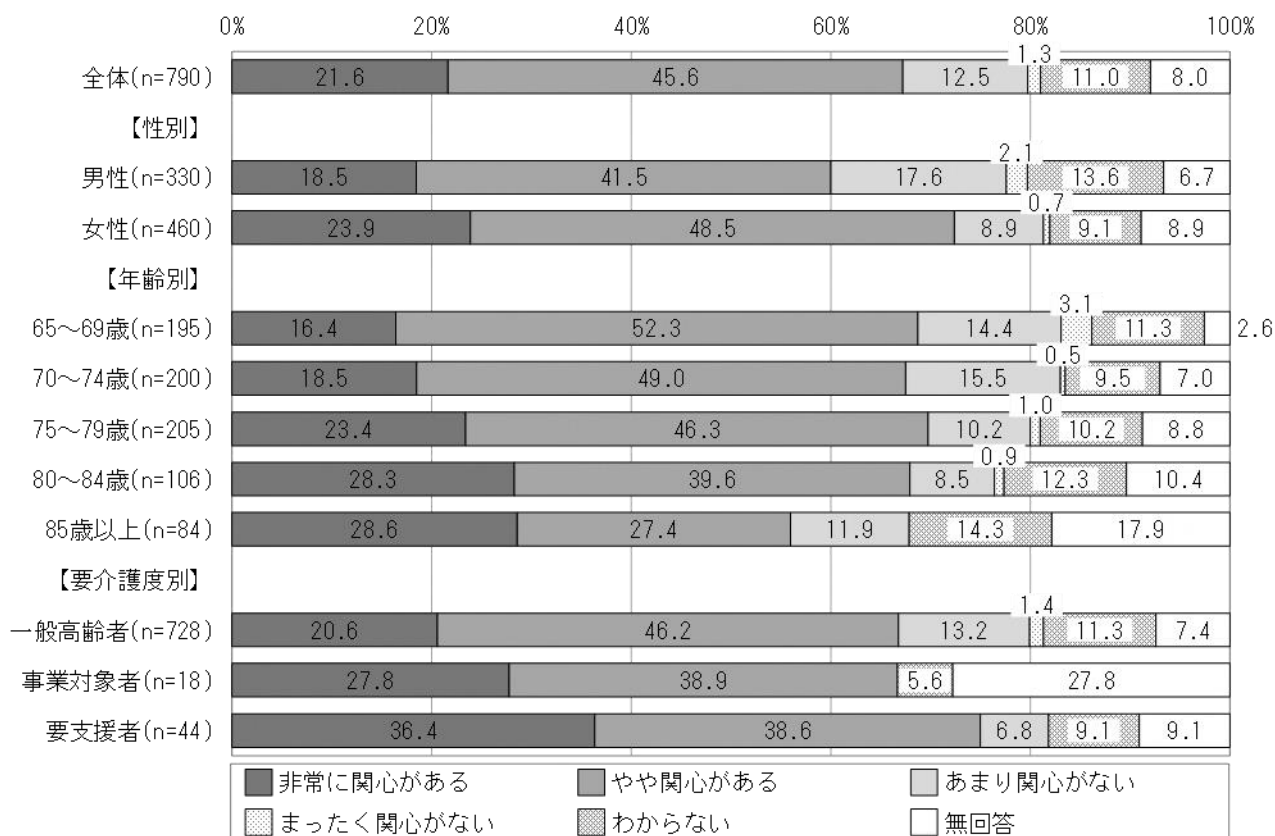
年齢別では、年齢が上がるほど「知らない」の割合が高くなる傾向にあります。



⑧ 介護予防に対する関心

全体では、「やや関心がある」が45.6%と最も高く、「非常に関心がある」が21.6%、「あまり関心がない」が12.5%と続いています。

年齢が上がるにつれ、また要介護度が上がるにつれて「非常に関心がある」の割合が高くなる傾向にあります。



⑨ 介護予防のために参加したいと思う講座

全体では、「認知症予防教室」が35.9%と最も高く、「筋力トレーニング事業（生活機能の維持・向上）」が34.9%、「転倒骨折予防教室（寝たきり予防）」が27.8%と続いています。

性別では「転倒骨折予防教室（寝たきり予防）」は、女性（35.4%）が男性（17.3%）を18.1ポイント上回っています。

(%)	認知症予防教室	筋力トレーニング事業 (生活機能の維持・向上)	転倒骨折予防教室 (寝たきり予防)	栄養改善の指導	地域でのサロン活動 (閉じこもり予防)	(炊事、洗濯等の家事訓練)	手指・爪の病気予防、 手入れ方法に関する教室	(歯みがき、口腔衛生に 関する教室)	その他	特 に な い	無 回 答
全体 (n=790)	35.9	34.9	27.8	14.6	13.4	7.1	5.8	5.6	0.4	28.2	11.5
【性別】											
男性 (n=330)	30.9	33.6	17.3	11.8	13.6	9.1	6.1	6.1	0.3	35.2	10.6
女性 (n=460)	39.6	35.9	35.4	16.5	13.3	5.7	5.7	5.2	0.4	23.3	12.2
【年齢別】											
65～69歳 (n=195)	41.0	48.2	24.1	12.8	11.3	9.2	4.1	4.6	0.0	29.7	7.2
70～74歳 (n=200)	31.5	36.5	26.5	15.0	13.0	7.5	5.5	5.5	0.0	28.5	10.0
75～79歳 (n=205)	40.5	33.2	31.7	14.1	15.1	5.4	6.3	4.4	0.5	26.3	7.8
80～84歳 (n=106)	34.9	24.5	30.2	17.9	14.2	7.5	6.6	10.4	0.9	29.2	17.0
85歳以上 (n=84)	25.0	17.9	27.4	14.3	14.3	4.8	8.3	4.8	1.2	27.4	27.4
【要介護度別】											
一般高齢者 (n=728)	36.3	34.6	26.9	14.1	13.0	7.1	5.5	5.4	0.4	29.8	10.4
事業対象者 (n=18)	33.3	16.7	33.3	27.8	22.2	11.1	16.7	0.0	0.0	11.1	33.3
要支援者 (n=44)	31.8	47.7	40.9	15.9	15.9	4.5	6.8	11.4	0.0	9.1	20.5

⑩ 特に力を入れてほしい高齢者施策

全体では、「医療体制・訪問診療の充実」が42.4%と最も高く、「高齢者の外出を支援する移動手段の確保」が40.4%、「地域交通（バスなど）の利便性の向上」が29.7%と続いています。

(%)	医療体制・訪問診療の充実	高齢者の外出を支援する移動手段の確保	地域交通（バスなど）の利便性の向上	わかりやすい情報提供や相談窓口の充実	介護保険サービスの提供体制の拡充	緊急通報システムなどの充実	認知症などの人の生活を支える仕組みづくり	災害時の避難・誘導対策の推進	高齢者向け住宅の確保、住宅改修への支援	健康づくりや介護予防の取り組みの充実	地域の見守り活動やふれあい活動の支援	働く場の確保	安心して外出できる環境（広い歩道など）の整備	趣味や学習活動、スポーツ活動の活性化	高齢者の権利を守る事業の充実	福祉に関する事業者、団体の活動の支援	ボランティアなどの社会参加活動の支援	その他	特になし	無回答
全体 (n=790)	42.4	40.4	29.7	27.3	24.8	23.0	20.6	18.5	18.2	16.7	15.7	12.0	9.6	7.2	6.1	4.8	4.4	1.3	7.3	9.0
【性別】																				
男性 (n=330)	46.4	38.2	27.0	26.1	25.2	23.9	18.5	15.5	21.5	16.4	16.1	15.5	8.5	9.7	6.1	7.3	5.2	1.5	7.3	7.6
女性 (n=460)	39.6	42.0	31.7	28.3	24.6	22.4	22.2	20.7	15.9	17.0	15.4	9.6	10.4	5.4	6.1	3.0	3.9	1.1	7.4	10.0
【年齢別】																				
65～69歳 (n=195)	49.2	41.5	31.3	32.3	26.2	22.1	27.2	14.9	24.1	15.9	12.3	19.5	9.7	11.3	8.2	6.2	3.6	0.5	7.2	3.1
70～74歳 (n=200)	41.5	37.0	31.5	28.0	28.0	23.0	16.0	17.5	19.0	22.5	21.5	16.0	8.5	6.0	6.0	6.0	5.5	1.0	8.0	6.5
75～79歳 (n=205)	44.4	43.4	30.2	28.8	21.5	25.4	17.6	22.4	16.6	15.1	14.1	8.3	11.2	7.3	3.4	3.4	3.4	2.0	6.3	10.2
80～84歳 (n=106)	36.8	38.7	30.2	20.8	26.4	22.6	29.2	16.0	16.0	13.2	17.0	4.7	9.4	5.7	7.5	1.9	7.5	1.9	5.7	14.2
85歳以上 (n=84)	31.0	40.5	20.2	19.0	20.2	20.2	13.1	22.6	9.5	13.1	11.9	3.6	8.3	2.4	6.0	6.0	2.4	1.2	10.7	19.0
【要介護度別】																				
一般高齢者 (n=728)	43.1	39.8	29.9	27.7	25.1	23.1	20.9	17.3	18.8	16.8	15.8	12.9	9.6	7.4	6.2	4.7	4.5	1.4	7.8	8.1
事業対象者 (n=18)	22.2	38.9	27.8	16.7	5.6	16.7	27.8	22.2	5.6	16.7	16.7	0.0	11.1	0.0	11.1	5.6	0.0	0.0	5.6	38.9
要支援者 (n=44)	38.6	50.0	27.3	25.0	27.3	25.0	13.6	36.4	13.6	15.9	13.6	2.3	9.1	6.8	2.3	6.8	4.5	0.0	0.0	11.4

(3) 在宅介護実態調査

① 現在抱えている傷病

全体では、「認知症」が35.6%と最も高く、「脳血管疾患（脳卒中）」が21.4%、「眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障害を伴うもの）」が20.6%と続いています。

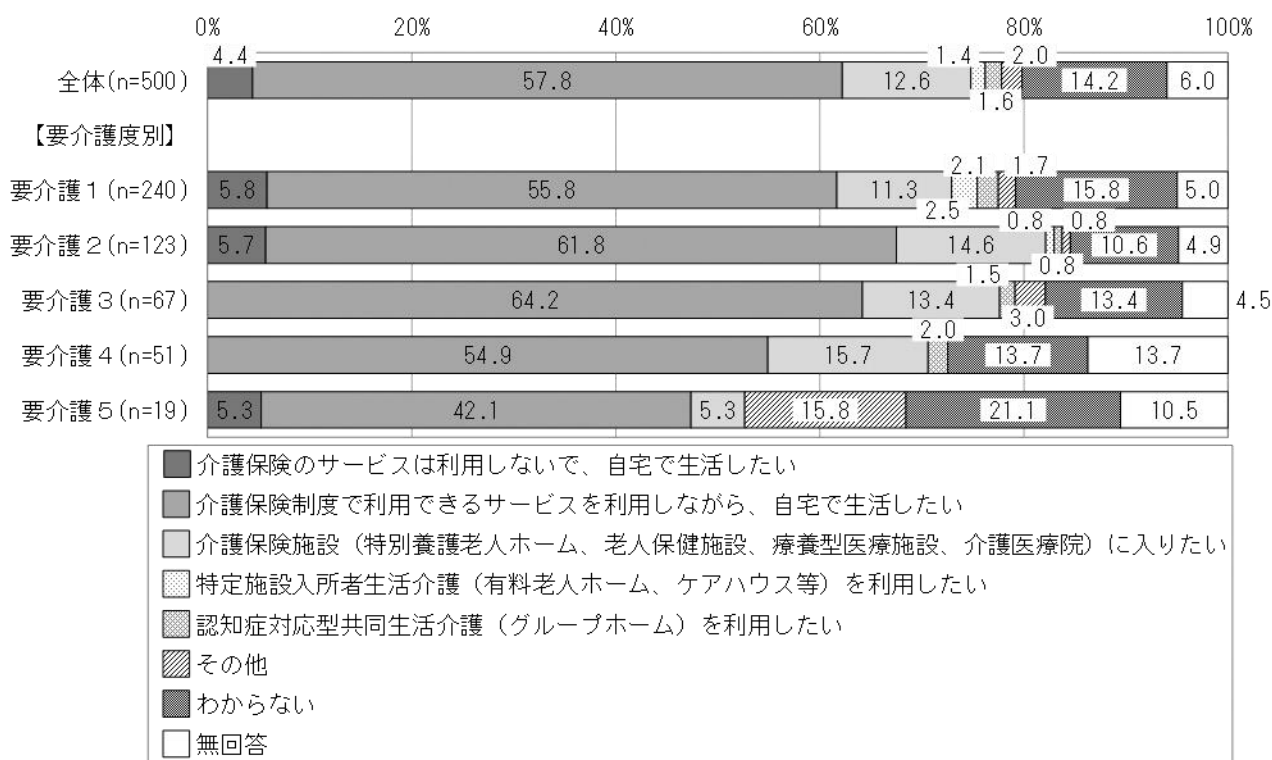
要介護度別では、要介護4で「認知症」が41.2%と高くなっています。

	認知症	脳血管疾患（脳卒中）	眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障害を伴うもの）	心疾患（心臓病）	糖尿病	筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等）	呼吸器疾患	変形性関節疾患	悪性新生物（がん）	パーキンソン病	膠原病（関節リウマチ含む）	難病（パーキンソン病を除く）	腎疾患（透析）	その他	なし	わからない	無回答
(%)																	
全体 (n=500)	35.6	21.4	20.6	19.0	17.8	16.0	8.0	7.2	4.6	4.4	3.4	2.4	2.0	18.2	3.2	1.6	2.6
【要介護度別】																	
要介護1 (n=240)	32.5	18.3	23.3	19.2	17.9	13.3	7.5	7.1	3.8	3.3	2.1	0.8	1.3	20.0	3.8	2.1	3.8
要介護2 (n=123)	38.2	19.5	21.1	20.3	18.7	22.8	8.1	9.8	2.4	6.5	4.1	2.4	4.1	17.1	3.3	0.8	0.8
要介護3 (n=67)	37.3	34.3	13.4	16.4	14.9	16.4	7.5	6.0	9.0	1.5	6.0	4.5	3.0	11.9	1.5	0.0	1.5
要介護4 (n=51)	41.2	23.5	21.6	23.5	23.5	13.7	9.8	3.9	9.8	5.9	5.9	3.9	0.0	23.5	3.9	3.9	3.9
要介護5 (n=19)	36.8	21.1	5.3	5.3	5.3	10.5	10.5	5.3	0.0	10.5	0.0	10.5	0.0	10.5	0.0	0.0	0.0

② 今後希望する介護の内容

全体では、「介護保険制度で利用できるサービスを利用しながら、自宅で生活したい」が57.8%と最も高く、「介護保険施設（特別養護老人ホーム、老人保健施設、療養型医療施設、介護医療院）に入りたい」が12.6%、「介護保険のサービスは利用しないで、自宅で生活したい」が4.4%と続いています。

要介護度別では、要介護3で「介護保険制度で利用できるサービスを利用しながら、自宅で生活したい」が64.2%と高くなっています。



③ 介護離職

全体では、「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」が63.1%と最も高く、「主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）」が7.8%、「わからない」が5.2%と続いています。

要介護度別では、要介護3で「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」が80.0%と高くなっています。

(%)	介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない	主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）	主な介護者が転職した	主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた（転職除く）	主な介護者以外の家族・親族が転職した	わからない	無回答
全体 (n=344)	63.1	7.8	2.9	2.6	0.6	5.2	18.3
【要介護度別】							
要介護1 (n=168)	66.1	6.5	3.0	0.6	0.6	3.6	19.6
要介護2 (n=88)	55.7	8.0	2.3	5.7	1.1	9.1	18.2
要介護3 (n=45)	80.0	6.7	0.0	0.0	0.0	0.0	13.3
要介護4 (n=30)	50.0	10.0	10.0	6.7	0.0	10.0	16.7
要介護5 (n=13)	46.2	23.1	0.0	7.7	0.0	7.7	23.1
【経年比較】							
今回調査 (n=344)	63.1	7.8	2.9	2.6	0.6	5.2	18.3
前回調査 (n=318)	70.8	7.2	1.6	0.3	0.6	5.3	

④ 主な介護者の方が不安に感じる介護の内容

全体では、「認知症状への対応」が36.9%と最も高く、「外出の付き添い、送迎等」が27.3%、「夜間の排泄」が25.6%と続いています。

要介護度別では、要介護3で「夜間の排泄」が31.1%と高くなっています。

